

カンジダ感染をコントロール

発生

- 健康な女性の**70%**以上が膣カンジダ症を患っています。

- 一般的な患部

消化管(主に口腔)

膣粘膜

皮膚

- 原因:

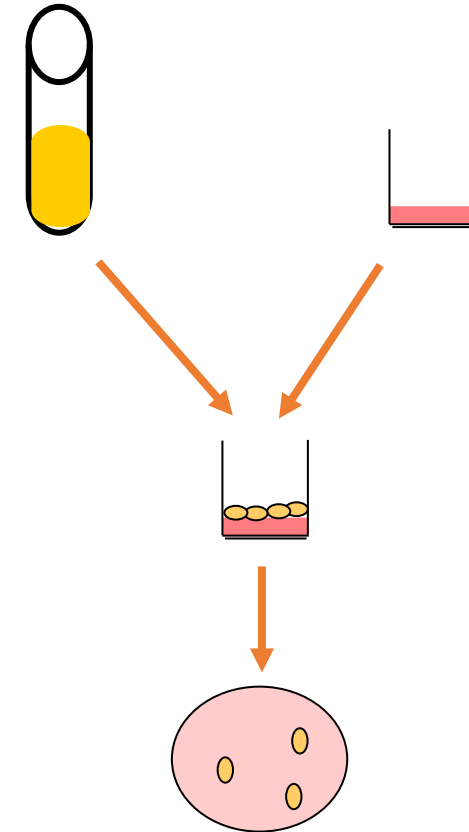
免疫不全状態(疾患およびストレス)、

老化

抗生物質治療

インビトロ接着阻害アッセイ

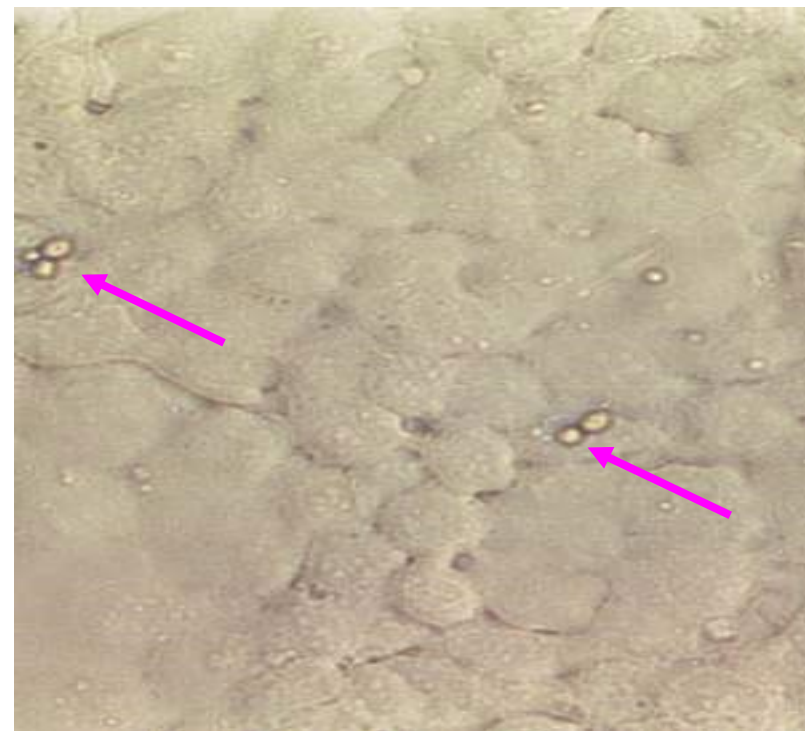
1. FaDu細胞の単層を24ウェルプレートに調製する
2. 特異的IgY(CA)と *Candida albicans* を混合する (5×10^6 CFU/ml)
3. 37°Cで1時間培養する
4. 500 μ lの混合物を細胞に加える
5. 37°Cで1時間培養する
6. PBSで洗う
7. YPD寒天中のCFUを数える



PBS-处理



特異的IgY(CA)处理



MP:X200

特異的IgY(CA)による*Candida albicans*付着の阻害

試験	1 st	2 nd	3 rd	4 th	5 th
感染量	1 × 10 ³	7 × 10 ³	7 × 10 ⁶	3.4 × 10 ⁶	5 × 10 ⁶
特異的IgY (CA) *	1.46	1.1	3.3	2.9	2.3
PBS 処理*	2.48	2.8	6.2	5.8	5.9
阻害率	90.33	97.3	99.90	99.87	99.98

* Log 10 付着細胞数 CFU/ml

パイロットスタディ

研究のプロトコール

ボランティア数: 2名

治療期間: 3ヶ月(3ステップ)

1.第1ステップ:500mg /日で1ヶ月間(1日5錠)の治療。

1錠は100mgの特異的IgY(CA)を含有する。

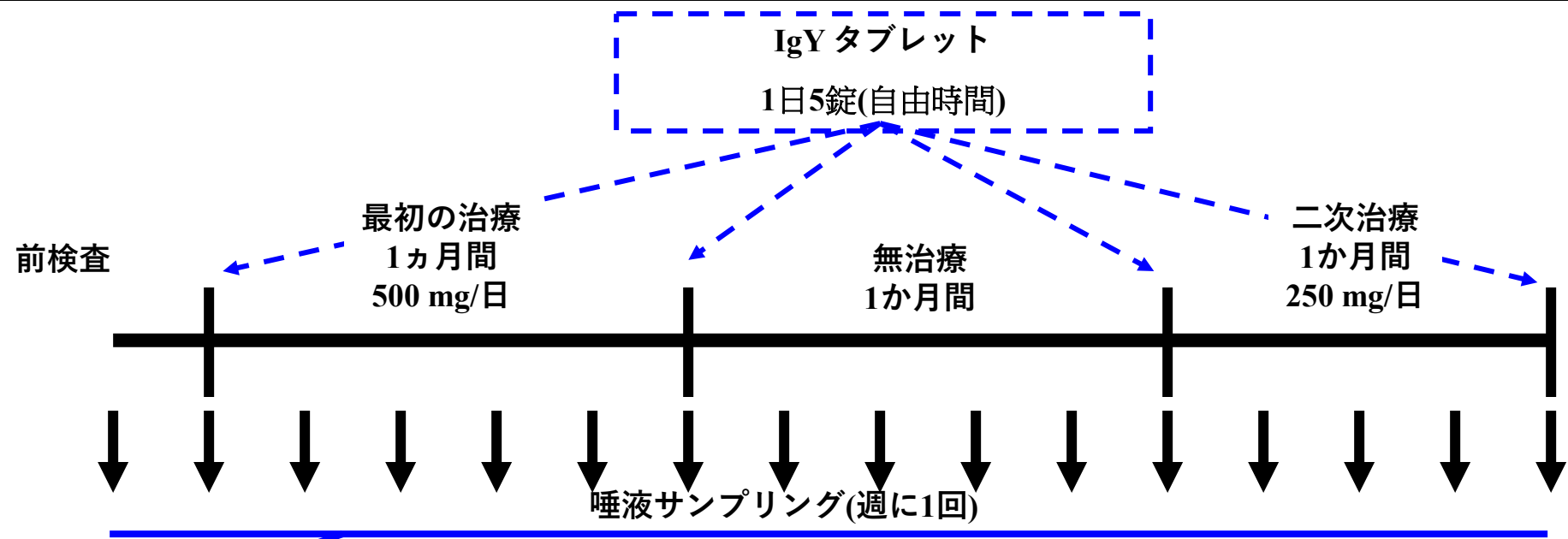
2.第2ステップ:1ヶ月間の治療停止

3.第3ステップ:250mg /日で1ヶ月間(1日5錠)で治療する。

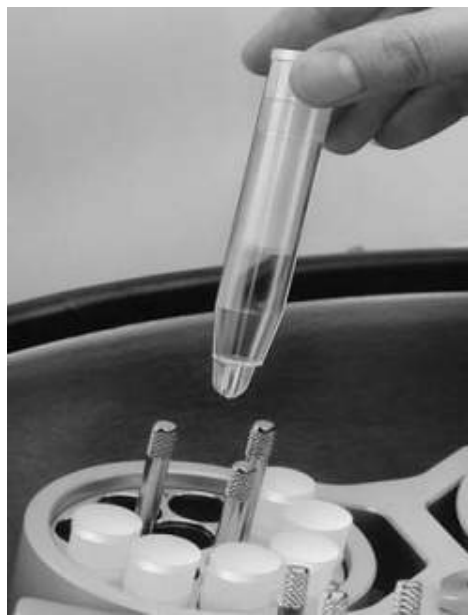
1錠は50mgの特異的IgY(CA)を含有する。

サンプル: 唾液サンプル

カンジダ数: カンジダGE寒天とカンジダID寒天で培養



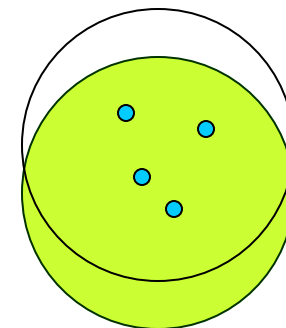
サンプル収集



遠心分離



綿を取り除く



希釈とCFU
カウント

パイロットトライアル結果

